

第 22 回日本救急看護学会学術集会 委員会主催交流集会・セミナー

第 22 回学術集会の会期中に、委員会による交流集会・セミナー等を開催します。
WEB による【LIVE 配信】は、開催日時が決まっています。【オンデマンド配信】は、12 月の会期中に視聴することができます。

いずれも学術集会に参加登録された方は無料で視聴できます(但し、人数制限のあるセッションもあります)。事前登録が必要なセッションのエントリー方法などは、後日、学会および学術集会ホームページ等で案内いたします。

【LIVE 配信】

交流集会〔トリアージ委員会〕

日時：12月5日(土) 13時～14時30分

テーマ：「COVID-19に伴う感染スクリーニングの重要性とトリアージにおける課題」

概要：実際に現場では施設により、医療体制、看護師の体制、診察室の配置が異なるなかで、COVID-19に伴う感染スクリーニング、トリアージをそれぞれの施設が工夫、試行錯誤しながら実践していると思います。今回 3名の演者から現状を発表していただき、オンタイムでは皆様からのご質問をして頂く予定です。

交流集会〔セミナー委員会〕

日時：12月5日(土) 15時～16時30分

テーマ：「救急看護におけるシミュレーション教育の学習設計」

概要：看護学におけるシミュレーション教育の学習効果は明らかにされている。シミュレーション教育は、看護学生から臨床看護師の教育まで、また、専門領域に関係なく広く活用されている教育である。しかしながら、シミュレーション教育の方法が理解されないまま導入している大学や病院は少なくない。そこで、今回、コロナ禍で臨地実習が困難になっている基礎教育のシミュレーション教育の学習設計や本学会が開催しているフィジカルアセスメントセミナーの学習設計、また、救急初療における看護過程学習、そして、実際の臨床現場での現任教育における学習設計について情報提供をいただき、皆さんと議論していきたい。

進行 石川幸司(北海道科学大学)、市村健二(獨協医科大学病院)

情報提供者

「コロナ禍における看護大学のクリティカルケア実習の学習設計」

苑田裕樹(日本赤十字九州国際看護大学)

「フィジカルアセスメントセミナーの学習設計」

石井 恵利佳(獨協医科大学埼玉医療センター)

「救急初療における看護過程の学習支援設計

増山純二(学校法人巨樹の会大学設置準備室)

「救急看護実践向上を目指した現任教育での学習設計」

吉次育子(神戸大学医学部附属病院)

交流集会〔外傷看護委員会〕

日時：12月6日（日）13時～16時

<プログラム>

13：00～13：10 オリエンテーション

13：10～13：50 外傷診療における FAST

社会医療法人 陽明会小波瀬病院 診療看護師 後小路隆

13：50～14：00 休憩

14：00～16：00 交流集会 （仮）特殊外傷

担当：■総論 山中（銃創・爆創の特殊性）

■デモシナリオ動画視聴

■止血 （タニケットを用いた止血の極意）

■胸部外傷（緊急脱気と管理）

■移送 （危険エリア狭所からの脱出と移送！！）

■討論・質疑応答

交流集会〔ファーストエイド委員会〕

日時：12月6日（日）17時～18時30分

テーマ：「COVID-19時代のファーストエイドを考える」

概要：第一部はファーストエイドコースシナリオを用いて、感染対策を工夫しながら対応する方法をいくつか提案します。第二部は参加している皆さんと感染対策を行いながらできるファーストエイドの対応をチャットも含めて意見交換していきます。

受講対象者は、ファーストエイドインストラクターです。

研究・論文投稿相談〔調査研究委員会、編集委員会〕

日時：12月14日（月）～18日（金）17時30分～18時30分

テーマ：「看護研究なんでも相談室」～臨床での疑問・アイデアを今後に活かし、論文投稿に結びつけるためのヒントをみつけよう～

概要：救急領域における研究および論文投稿に関する疑問や質問にお答えするオンタイム相談室です。明日から使える看護研究の知識を得たり、日頃の疑問をリサーチクエスションにし、研究していくプロセスで困っていることを解決したりするための方法を一緒に考えます。研究計画書の書き方、対象の選定、データ収集方法、分析方法、研究はある程度分析までできているけれども、どんな点に注意して論文作成・投稿すればよいか困っている点、投稿時の注意点、採用される論文を書くコツなど、個人やグループの個別の疑問にお答えできるような場とします。

参加方法：詳しくは後日ご案内いたしますが、相談を希望する方は事前予約が必要です。予約の際に下記をご入力いただく予定です。

- ・テーマ（未定の場合も可）
- ・相談内容（できるだけ具体的に）
- ・相談希望日時（第3希望まで）

【オンデマンド配信】

ミニレクチャー〔編集委員会〕

配信期間：12月1日（火）～12月31日（木）

テーマ：「新たな論文種別—早く知らせて役立つ「短報」の論文作成の要点」

概要：このたび本学会雑誌の論文種別に新たに加わった「短報」について、概説いたします。短報は、迅速に公表することにより、救急看護の実践や研究の発展に貢献する可能性がある基礎研究や、時事のタイムリーな情報を短い論文として記載するものになります。一例としては、新型コロナウイルス感染症の患者さんを看護されるなかで気づいたことや、試行的に行ってみて有効であったケア方法など、多くの人が情報を共有することでよりよいケアに発展したり、安全管理に示唆が得られるような内容などです。そのほかに、どのようなことが短報となるのか、様々な例を紹介しながら、記載のポイントをお話ししたいと思います。また、こちらのミニレクチャーをご覧になって、興味を持たれた方や、論文を書きたいと思った方は、是非とも、調査研究委員会、編集委員会が主催する、「研究・論文投稿相談」にご参加ください。

セミナー〔災害看護委員会〕

配信期間：12月1日（火）～12月31日（木）

概要：災害看護初期対応セミナーは、繰り返し起こる災害に備えるべく、災害に対する基礎的な知識と医療対応の原則をもとに、受講生間の議論を通して災害によって引き起こされる様々な状況においても救急看護師として被災者に安寧をもたらす看護を実践できることを目的に教育を行っている。今回、災害看護の基本を広く知っていただくと同時に、災害看護初期対応セミナーの広報をする。

セミナー〔救急電話相談トリアージ委員会〕

配信期間：12月1日（火）～12月31日（木）

テーマ：「我が国における救急電話相談トリアージの現状と課題」

概要：我が国における救急電話相談トリアージは、行政、自治体で実施されているものから、病院施設などで実施されているものなど多岐にわたっています。

今年度は、委員会の活動報告、文献レビュー等からの電話トリアージの現状、#7119の現状、病院での現状を4名の委員に発表していただき、現状把握と課題についての情報共有の機会とします。